

2017-18
Chiba-Higashi Rotary Club

第 1164 回

Weekly Report

会長 松澤須美子
幹事 鳴海 寿裕国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー
第 2790 地区 ガバナー 寺島 哲生
第 3 分区 A ガバナー 補佐 宮本 和夫

本日のお客様

第 2790 地区
米山記念奨学 副委員長 石田 善一 様
委員会
米山奨学生 朱 彤 様

会長挨拶

松澤 須美子 会長



皆様こんばんは

昨日から超大型で非常に強い台風 21 号が関東地方を直撃しました。皆様方のおかれましては、被害等は大丈夫でしたでしょうか。昨夜は本日の例会が開けるかどうか心配しておりました。無事開催することが出来て一安心しております。ただ、紀伊半島に記録的豪雨をもたらし、暴風域に巻き込まれた各地の被害状況はこれから判明してくると思いますので、お見舞い申し上げます。

さて 10 月は「経済と地域社会の発展月間」そして日本独自の「米山月間」でございます。

米山奨学生第 1 号は、タイの青年ソムチャード・ラタナ

チャタさんです。現地で選考され、1954 年 9 月 28 日に来日して東京大学農学部で養蚕を学びました。

その 13 年後の 1967 年にロータリー米山記念奨学会財団となり、今年は財団 50 周年を迎えました。日本で学ぶ私費外国人留学生を支援し、友情を育むことで平和な日本を肌で感じて貰いたい、そんな願いを込めて始まった奨学事業ということです。創立当時の 1967 年は年間 59 人だった奨学生数は今では約 800 人、これまでに累計 125 の国と地域から昨年度までの奨学生は 19808 人にもなりました。戦後のロータリアンの願いは半世紀の時を経て、今みごとに継承され実を結んでおります。

本日、米山奨学生のシエトウ様をお迎えして、卓話をお願いしております。

どのようなお話が聞けるか楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。

P H F 伝 達

松澤会長がポール・ハリスフェローになりました。鳴海幹事よりポール・ハリスフェロー証が手渡されました。



鳴海 寿裕 幹事



◇ 11月27～28日台湾五福RCが来日します。27日はニューオータニで合同例会、その後24Fで歓迎会を開催します。28日は合同社会奉仕として銚子電鉄訪問、成田「なごみの米屋」訪問となっております。今月26日に辻国際交流委員長と下見をしてきます。また29日は午後4時ごろ離日しますので時間のある方は見送りをお願いします。

ゲ ス ト 卓 話

米山奨学生 ^{しゅ} ^{とう} 朱 彤 さん



千葉東ロータリークラブの皆様 こんにちは
私は米山記念奨学生のシュトウと申します。今年4月から茂原ロータリークラブで2年間お世話になることになりました。ロータリー米山記念奨学生に選ばれ、ロータリー米山記念奨学会、そして、ロータリアンの皆様に心から感謝を申し上げます。本日、千葉東ロータリークラブでの卓話の機会を与えて頂き、まず簡単に自己紹介をさせていただきます。

私の名前はシュトウです。シュは朱肉のシュで、意味はオレンジよりの赤色です、トウは日本の辞書に載っていない漢字ですが、中国語では朝の太陽の色を表現している赤です。中国では、赤が縁起のよい色、太陽

みたい温かい色、きっと両親が「ラッキーにいられる、そして周りの人に熱意を伝える」という意味を込めて名付けられたのではないかと思います。

私の故郷は承德市という街で、北京に東北にあり、高速道路を利用して車で約2時間のところにあります。気候が爽やかで、自然の風景が綺麗です。承德市は、長い歴史を持つ文化都市です、ここに清王朝歴代皇帝が夏の離宮として造営した「避暑山荘」があります。清朝の時代には、皇帝様は毎年夏、避暑を兼ねてこの地で政務を行いました。山荘の面積は564万㎡日本の皇居の5倍を超える大きさとなり、承德市の約半分を占めています。現存する世界最大の皇室御苑として、世界遺産登録され、中国国家指定名勝地が20数ヶ所、毎年550万以上の観光客が訪れます。1980年から千葉県と友好都市でもあります。

私の家族は、両親と私三人です。父は小児科の医師です、母は医科大学の教授です。両親は大学時代で出会い、一度むこうで就職し、2002年から2007年の間に千葉大学で留学しました。両親の留学のおかげで、私は小学3年生の時に日本と初めて出会いました。当時は、日本語全くしゃべれない私は日本人の小学生と一緒に普通の小学校に通いました。今から想像してみますと、自分の名前さえいえない私は、大変や辛かったのではないかに思われるかもしれませんが、しかし小学校時代では、辛いや寂しいなどの記憶は全くありませんでした。むしろ毎日とても楽しくて学校にいて、放課後に「今日も遊ぼうね」との交換メモが必ずもらえる日々は、一番楽しい時期だったのです。両親の留学生活を終えて、私も中国に戻らなければならないのですが、いつの日が必ず再び日本に帰りたい、日本の友達と遊びたいと神社の絵馬に願いを書きました。その強い想いは、まだ忘れていません。多分一生の中でも忘れられないでしょう。

先ほど申し上げた通り、両親は医学系の分野をしており、実は祖父、曾祖父とも医学系でした。両親は、娘である私も続けて将来、医者になって、患者さんを助けるということもずっと願っていましたが、しかし私は、耐震建築分野に興味を持ってしまいました。なぜか地震に興味を持つかということ、日本にいる間に、千葉のほうはとくに大きな災害がなかったですが、小さい地震を何度も経験しました。当時、最も怖かったのは死者もでるほど大きい地震の新潟県中越地震です。小学校でも、防災訓練を何度も行ったのですが、地震というのは命が脅かされることが初めてわかりました。そして、私の人生の軌道を大きく影響したのは、2008年中国四川省での四川大地震です。四川大地震で死者7

万弱とのことについて驚きました。人の死亡が主に住宅の倒壊が考えられますので、さらに調べると建物の倒壊が 21 万、破壊が 415 万という膨大な数字が出てきました。建築物を頑丈にすれば、人の命に関わるのが痛感しました。新潟県中越地震のときにも日本にいました。地震により死亡者数が 68 と中国の 7 万人が 100 倍以上の違いについて驚きました。さらに、日本にいる時に地震が時々ありますが、地震が起きても、人々は逃げようとしなくていいのが覚えています。つまり、日本人たちは、建築物に安心感が強いのです。私は、人に安心安全の建築物に興味を持ち始めたきっかけでもあります。両親は、私を医師として人を病から助けると希望していますが、私は人の命を建築物から守るという方向に進んでしまいました。建築物が地震で倒れて、医師が人を助けることはもちろんやりがいがあると思いますが、私はどうも建築物を頑丈につくりたいという根本から人の命を守ると強い願望があったのです。

私は日本が大好きで、よく一人旅を出ています。出発するときはいつも一人ですが、旅をするときに気が合う人と出会い、美しい風景を持ち帰るとともに、たくさんの出会った人との思い出を持ち帰ることができず。たとえば、沖縄でダイビングするときに、韓国人の方と語り合い人生ってこんな自由な人がいると初めて知りました。北海道の泊まった民宿で、美術大学生である台湾の方と出会って、小樽のガラス芸術品について教えていただいて、あまりにも気が合いすぎ、今度台湾で会おうと約束をしました。京都の祇園で出会った日本人のカメラマンおじさん、私の一人の姿をみて、写真をいっぱいとっていただきました。急いで帰りましたので、連絡先の交換が忘れましたが、三年後、約束せずに、なんと再び同じ場所でおじさんと会いました。もちろん、連絡先を交換したおかげで、今でも文通をしています。旅の経験をしてから、ますます人と人の縁は不思議ですと感じました。私は一番好きな言葉は「一期一会」ということばです。ご存知の方もいらっしゃると思います。辞書を引くと「一生に一度だけ出会うこと」と解釈されています。このことばを聞いた時、私はとても感動しました。まさにその通りです、たとえ一度だけ出会っても、人と人の縁を大切にしています。また、一生において充実した時間には二度ともどることはできません。また、明日には何が来るか今はまだわかりません。そう思うと、人生の一日、一分、一秒がとても重要であり、充実させなければいけないほど大切にしています。

次に、将来の自分の専門分野での計画を皆様に報

告したいです。

私は建築学を専攻しており、建築を言いますと、多分皆様の頭の中では、多分表参道や銀座のおしゃれな建築物を浮かべるのではないかと思います。実は、建築学は大体おおまかに建築意匠と建築構造に分類されます。先ほど申し上げたように、私は、人々の安全かつ安心な生活を作りたい、地震から人の命を守りたいと思っており、建築学の中の外観デザインより地味だけど、実用性が非常に高い分野—構造設計を専攻しております。研究している内容を簡単に言いますと、まず骨組のモデルを作り、地震動をプログラムで入力、対象モデルが地震力に対する指標値を考察、地震に耐えられるように、モデルを修正するといったルートです。研究が大学の4年生から始まった以来、学術的論文5編を掲載しており、その中に査読付き論文1編、日本建築学会で2回発表することができました。それは、研究室の先生方と先輩方のご指導のおかげだけではなく、皆様方のご支援のおかげで、米山奨学生として何も困ったことがなく研究を励まされたと思います。将来、私は、広い知識と専門性を持った設計者になりたいです、チャンスがあれば、日本だけではなく、地震で困っている海外でも携わっていきたく思います。

今年の十月三日から、日本に留學生活の第7年目を迎えることとなりました。この6年間の留學生活を振り返ってみると、留學を通して本当に多くのものを得ることができました。また、親元を離れて、いろいろな親切な方にお世話になりました。日本、そして、千葉は、私の第二の故郷でもあります。文化の違いはあるものの、日本人の静かで、安心感のある優しい心に包まれて、今の私が育ったと思います。この6年間どれくらいの日本人に助けられたか数字では表現しがたいですが、心の中ではいつも感謝の気持ちがいっぱいでした。そして、私にとってこの留學生活での一番の収穫は、今年から米山奨学生になってからです。

私は現在、茂原ロータリークラブでお世話になっております。毎月の例会に限らず、米山奨学会が開催する様々な行事、奨学生の研修旅行や奨学生同士の交流会などに参加し、それらの活動を通し異なる多くの職業のロータリアンの皆様といろいろな交流ができたことで、日本文化の理解をさらに深くなると思います。私は米山奨学生になってから、一番幸いだと考えることは何より、ロータリアンの方々とのお付き合いです。各分野で素晴らしい成果を上げておられるロータリアンの方々には、私にとっては人生、そして社会の大先輩であり、皆様から学校で学べないことを沢山教わり、

これからの私の方向性や社会人としてのあるべき姿勢を改めて考えるチャンスを与えてくれたのです。月1回、クラブで食事をさせていただくたびに、様々なロータリアンと交流することができて、非常に嬉しく思います。また、勉強のことだけではなく、日本で生活するにあたって気をつけることなど、様々相談をさせて頂いております。ロータリーの活動を通じて人のネットワークが広がり、私はさらに沢山の優秀な人に出会うことができました。成功と幸せという共通のゴールに向かっている人々から、私はいつも希望と情熱と努力し続けるエネルギーを与えて頂きました。

また、今年の夏頃千葉南ロータリークラブが主催した「第15回 国際里山の集い」という里山での交流会に参加させていただきました。ロータリアンと千葉市民の協力で、里山での草刈り作業やつるきりなどの若木の保育作業を行いました。森のオープンスペースで共同作業をしている時のフランクな交流により、自然環境への理解も深めることができました。当時は、母親が日本にいました、母親も草刈り作業に参加させていただきました。母親にとって6年の留學生活で日本人の方々にもお世話になっておりました、たとえ僅かな力でも、日本、そして日本人の方々に役に立ちたいと母親は常にこう言います。この体験を通して、非常に有意義な一日を過ごすことができました。あらためて、ロータリー米山奨学生の一員になることが良かったと感じました。

社会に奉仕し、貢献したいと、お仕事で多忙な日々を送りながらも様々な社会奉仕活動を参加しているロータリアンの姿を見て、私はこれからどのように努力すれば有意義な人生を送るかを改めて考えさせられました。

私は未熟ですが、皆様は温かい心で私を指導し、見守ってくださっております。私はロータリーの一員となることによって、単なる栄光に浴することだけではなく、ロータリーの奉仕の心を学びながら、将来世の中に貢献のできる能力を身につけて行きたいと思っております。

僅かな力でも、日中両国の相互理解を増進するために精一杯努力し、一人でも多くの方がお互いの国に興味を持って頂き、理解して頂くことを願っております。

す。米山奨学生もならなければ、このことは一生わからないと思います。皆さんの暖かい気持ちが込められた奨学金で、私を含め多くの留學生が励まされ、日々の勉學に精を尽くしています。私は米山奨学生になって本当に良かったと思います。日本は、鶴の恩返しという昔ばなしがありますが、私もロータリアンの皆様から受けたご恩を返さなければなりません。支えていただいたロータリアンの皆様の恩返しとして、これから私はロータリーの理念を広げ、卒業した後は私もロータリアンの一員になりたいと思っております。そして、皆様にいただいた沢山の温かい気持ちを多くの人々に伝えられたら幸いです。将来は、仕事とは別に国際交流に役立つことをしたいと考えており、日本と中国の架け橋になって、日中の交流のためにできるかぎり力を尽くしたいと思っております。奨学生としては2年だけの期間ですが、それ以降もロータリアンの方々との絆、日本との絆を大切にしていきたいと思っております。

最後になりますが、本日はこのような貴重な席にお招きいただき、誠にありがとうございました。これまでのご支援に改めて感謝申し上げますとともに、今後とも皆様のご指導いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。



江上会員

10/16 義理祖母100才

10/18 母90才になりました。

鳴海会員

米山奨学生、米山記念奨學委員石田様、ようこそ！
松澤会長

米山奨学生朱形様、卓話ありがとうございました。
又、石田善一様付き添いありがとうございました。

合計 15,000円

累計 443,000円

創立：1991年1月21日

認証：1991年3月6日

例会場：ホテルニューオータニ二幕張

点鐘：毎月曜日 18:30

事務局：千葉市稲毛区穴川3-5-27 上総ビル 303

T E L : 043(251)2790 FAX : 043(251)2726

Email : chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp

U R L : <http://www.chiba-higashi.jp/>

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員会 藤本 俊哉